

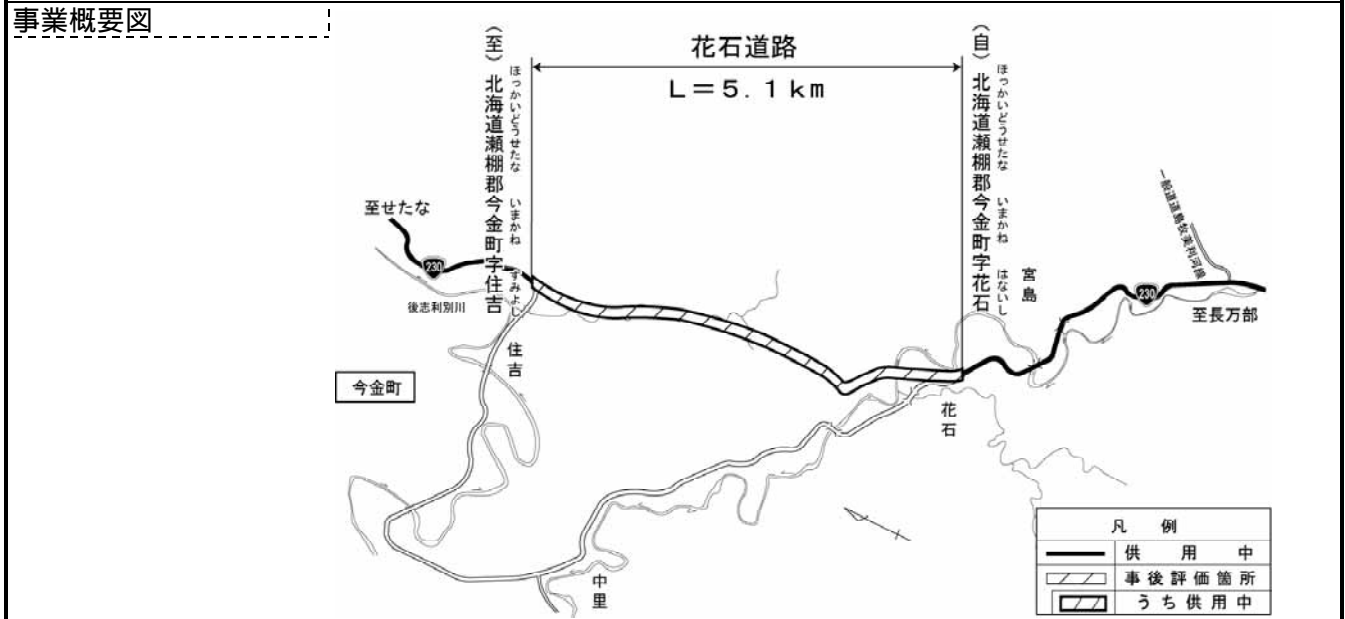
# 事後評価結果（平成17年度）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課  
担当課長名：西村 泰弘

<b>事業名</b> おしま 渡島半島横断道路（一般国道230号） はなishi 花石道路	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 北海道開発局
<b>起終点</b> 自：北海道瀬棚郡今金町字花石 至：北海道瀬棚郡今金町字住吉	<b>延長</b> 5.1 km	

**事業概要**  
渡島半島横断道路は、広域交流拠点である北海道縦貫自動車道国縫インターチェンジと瀬棚港とを連結する延長60kmの地域高規格道路である。このうち花石道路は、渡島半島横断道路の一部を形成する延長5.1kmの区間である。

**事業の目的・必要性**  
花石道路は、交通隘路区間における安全かつ円滑な道路交通の確保、農水産品の物流の効率化、観光等の交流促進等に寄与するものである。



<b>事業の 効果等</b>	<b>事業期間</b>	事業化年度：H元年度 都市計画決定：-年度	用地着手：H2年度 工事着手：H4年度	供用年：(当初)- / H12年度 (暫定/完成)：(実績)- / H12年度	<b>変動</b> ：1.0倍
	<b>事業費</b>	計画時 (名目値)：- / 90.0 億円 (暫定/完成) (実績値)：- / 88.0 億円	実績 (名目値)：- / 96.3 億円 (暫定/完成) (実績値)：- / 94.3 億円		<b>変動</b> ：1.1倍
	<b>交通量 (当該路線)</b>	計画時 (暫定/完成)：- / - / 日	実績 (暫定/完成)：- / 2,081 台/日		<b>変動</b> ：- %
	<b>旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)</b>	50.5 (供用直前年次) H2年度	59.6 (供用後年次) H17年度	<b>交通事故減少 (供用前現道 供用後現道)</b>	12.6 (供用前) H2~4平均値
<b>費用対効果 分析結果 (事後)</b>	B / C 1.2	<b>総費用</b> ：157 億円 (事業費：137 億円 維持管理費：20 億円)	<b>総便益</b> ：190 億円 (走行時間短縮便益：142 億円 走行経費減少便益：39 億円 交通事故減少便益：9 億円)	<b>基準年</b> ：H17年	
<b>事業遅延によるコスト増</b>	<b>費用増加額</b> ：- 億円	<b>便益減少額</b> ：- 億円			

**事業遅延の理由**

**客観的評価指標に対応する事後評価項目**  
線形不良箇所・防災点検要対策箇所の解消  
・当該事業の整備により、急勾配、急カーブ、防災点検箇所が解消された。  
特急停車駅へのアクセス向上  
・当該路線の整備により、せたな町・今金町などの檜山北部地域から、JR長万部駅までのアクセスが良くなり、特急利用客の利便性向上が図られた。

	<p>緊急輸送道路が通行止めになった場合の代替路線を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年9月の台風15号の災害時には、一般国道5号が32.5時間の全面通行止めとなった。その際に道央圏と道南圏を結ぶ国道5号の迂回路として、花石道路が利用された。</li> </ul> <p style="text-align: right;">他7項目について効果の発現がみられる</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>三次医療施設へのアクセスが向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間の整備によって、函館市や札幌市などの三次医療施設への搬送時間の短縮と安全性が確保される等、救急搬送の利便性向上が図られている。</li> </ul>
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価、対象外事業である。</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>人口・産業等の社会経済情勢の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿線地域の人口については、事業化当時33.8千人（S60国勢調査） 供用後26.8千人（H12国勢調査）に減少している。</li> <li>沿線地域の農業産出額は、事業化当時134億円（H2） 供用後95億円（H15）に減少している。</li> <li>沿線地域の漁獲高は、事業化当時68億円（H3） 39億円（H15）に減少している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">沿線地域：長万部町、旧大成町、旧瀬棚町、旧北檜山町、今金町</p>
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>事業の効果が発現しており、再事後評価の必要性はない。</p> <p>また、改善措置の必要性もない。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>特に同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし。</p>

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。